

MICE施設整備について

3月臨時会

3月27日に開催された全員協議会、3月31日に開催された3月臨時会において、MICE施設整備について議論及び議案審査が行われました。

全員協議会

MICE施設に係る市の方針について、市長から説明がなされ、各会派から質問がなされました。

◎市長からの説明の要旨

人口減少や地方分権、国の財政状況などを見据えたとき、自治体はこれまでのように国や経済の動向に左右されるだけでなく、自治体そのものが独自の活性化戦略を持つ必要がある。そのまちの個性や資源を「強み」として徹底的に活かすためには、交流による活性化こそ長崎が目指すべき方向性である。

MICE施設の整備については、本市の持つ歴史、文化、夜景、食等の観光資源に加え、知名度の高さ、イメージの良さ、おもてなし意識が高い市民性、大学の存在、平和・医学情報の集積など、長崎の持てる資源を万遍なく活かすことができ、また、新たな顧客の獲得を可能にし、来訪客をふやすことで、新たな外貨獲得が可能になるため、長崎が目指している「世界都市」というビジョンの実現に向けてもふさわしい手段の1つである。

コンベンション施設整備推進費(1940万円)を含む平成26年度一般会計補正予算(第2号)等を可決

環境経済委員会においては、コンベンション施設整備推進費について、全員協議会での議論を踏まえ慎重に審査を行いました。

委員会では、本予算の成立をもってMICE施設建設について議会の同意を得たと理解するとの理事者の見解や本予算に関する要求水準書案、実施方針案等の成果と6月に提案予定とされている用地取得に係る予算議案との関係などについて、責任ある説明を求めため市長の出席を要請しました。

市長からは、本予算は施設建設に向けた準備行為であり、本予算の成立をもって全体計画について承認を得られたと考えるものではないとの答弁がなされました。これに対し、本予算に関する要求水準書案、実施方針案等の成果を基に改めて議論を深め、その後用地取得に係る予算の提案を行う考えの有無についてたどりました。この点、市長から、MICE施設建設については、十分な議論が必要であり、議会とともに検討を進めていくため、用地取得に係る議案の提出時期について再検討したいとの答弁がなされました。その結果、大型事業が相次いで予定

され、財政的に困難な状況が予想されるため賛成できないとの反対意見が出された一方、議会、市民に説明を行い、十分議論が尽くされた中で土地の取得に係る議案を提出してほしいなどの要望を付した賛成意見が出され、採決の結果、賛成多数で原案を可決しました。

◎MICE(マイス)施設とは

MICE施設とは、ミーティング(会議、研修、セミナー)、インセンティブ(報奨・招待旅行)、コンベンション(大会、学会、国際会議)、エキシビジョン(展示会)の頭文字をとった造語で、幅広く人が集まり交流するものを指します。また、一般の旅行者に比べ、消費額が大きく、経済波及効果が期待されます。

◎検討されている施設整備の概要

敷地は、長崎駅西側用地及び隣接保留地約2万3千㎡。メインホール、展示ホール、多目的ホール、会議室のほか、駐車場、民設民営によるホテル等を設置予定。建設費は約144億円(用地費、ホテル部分などは除く)。平成31年度供用開始の予定。